



拠りどころ
見どころ

Aゾーン 樹氷と蔵王ロープウェイ

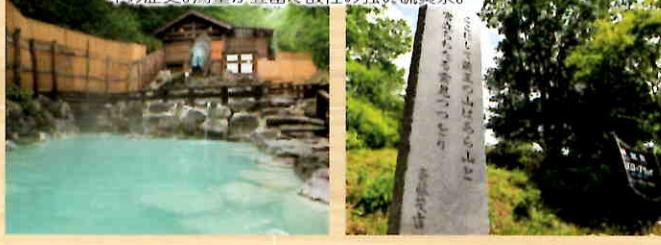
針葉樹のアオモリトドマツと雪と風。自然がおりなす芸術作品。

温泉からロープウェイ(約20分)に乗る。雪原を埋め尽くす巨像群。



Bゾーン 蔵王温泉と斎藤茂吉碑

歌人 斎藤茂吉「蔵王文学のみち」は、茂吉の歌を歌って刻んだ20基21首の歌碑。その感性と思いに触れることができる。蔵王温泉は貞観15年(873)酢川温泉神社に從五位を授けると古記にあり、1000余年の歴史。湯量が豊富で酸性の強い硫黄泉。



Cゾーン ニッ沼と古竜湖キャンプ場と西藏王市民の森

花笠音頭の発祥の地のニッ沼は、春には紅枝垂れ桜・八重桜が咲き誇る風雅な沼。古竜湖の山形市のキャンプ場は、子供たちでぎわっている。西藏王市民の森は、大山桜を主に、十種類の桜と朝日連峰、月山、飯豊連峰が望める。



Dゾーン 松尾山観音堂と十一面觀音・勢至菩薩

茅葺き屋根の観音堂は国の重要文化財で、カツラと彼岸桜は市の天然記念物。境内に粟野音松作の弁財天もある。本尊の十一面觀音菩薩は高さ3.26m、脇侍の勢至菩薩は高さ3.03mで行基の作。



Eゾーン 成澤八幡神社石鳥居と成沢城跡

日本最古の石鳥居として、昭和27年に国の重要文化財に指定された。凝灰岩で高さ436cm。柱は直径99cm。日本古来の形で、簡素でどっしりした風格は、飾らない美しさがある。成沢城は戦国時代の山城。特に慶長5年(1600)に争った関ヶ原の戦いの出羽合戦で、上杉軍の侵攻を阻止するため補修した、結構構えの城である。



堀田村 明治天皇小休所(みゆき公園)



旧幕時代は、佐倉藩堀田氏の飛地領であった。

明治22年(1889) 堀田村誕生 9ヶ村合併

高湯村、山神村、上野村、山田村、半郷村、金瓶村、成沢村、飯田村、下桜田村

昭和25年(1950) 蔵王村と改名

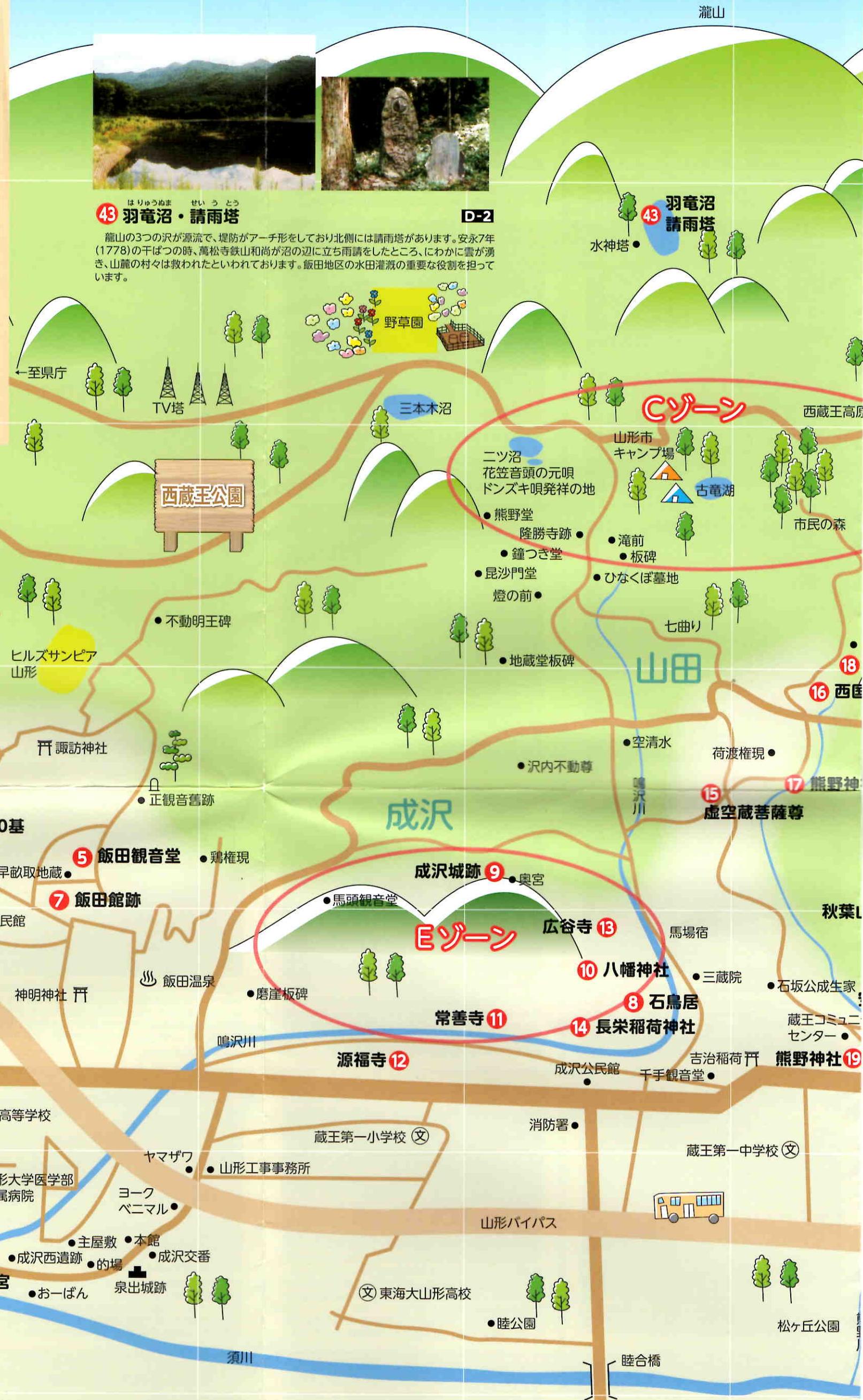
昭和32年(1957) 山形市に編入合併 8ヶ村金瓶は上山に分離合併

位置：堀田村役場所在 半郷 79-1 東経38度11分 北緯140度6分

東西12Km 南北6Km 海抜 194.7m

・その自然を守り続け、受け継いだ財産を次の世代に渡すことこそが将来の幸福を約束することです。

・この地域に住む人達は、大自然に溶けこみ
・神の住む靈山に守られて生命を受け継いできました。
・自然の恵みを限りなく受け、生あるもの全ての歴史をつくり今に伝えております。



44 蔵王村は元「堀田村」

江戸時代中期以降、堀田公が山形城主となり、その後、堀田氏が佐倉に移封後もその飛地領として柏倉陣屋を拠点として村山46カ村41,500石の支配が明治2年まで続きます。

明治22年の町村制施行により、旧領主の名前を付けて「堀田村」が誕生しました。

昭和25年日本観光地百選の山岳の部第一位になり全国に名聲をあげるとともにその名を「蔵王村」と改称していますが、同時に「堀田」の名を山の神地区に残し現在に至っています。



蔵王地区